

コバトン着ぐるみ 装着要領

1 装着の手順（脱ぐときは逆）

- ①しっぽのベルトを胴体背面下部の穴に差し込み、内側のマジックテープにしっかりと固定する。しっぽの向きに注意（はね上げる）。
- ②胴体にタスキをかける（右肩が上）。たるまないよう、胴体にピンとはるようにして、肩と、裾を安全ピンで留める。（タスキ装着要領を参照）
- ③装着者は長袖Tシャツ、ジャージ等の軽装になり、首にはタオルを巻く。
- ④黄色いズボン（タイツ）を着用し、両足にコバトンの足（靴）を履いて足首のベルトを留める。手袋を着用する。
- ⑤胴体をかぶり、羽に腕を通す。
- ⑥頭部を付けてもらう。胴体の首の前後にマジックテープ付きのツメ（ストッパー）がある。まず前ツメを頭部にはめ、後ろツメを押し込んではめる。
- ⑦手を挙げたり体を動かしたりして、しっかりと固定されているか確認する。

2 装着中の心得

- ・着ぐるみの運搬及び装着の一切は、使用者の責任において行うこと。
- ・装着者は、可能な限り身長160cm以下の者とする。
- ・着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- ・雨天時及び降雪時は、絶対に屋外使用しないこと。
- ・着脱しているところを関係者以外に目撃されないようにすること。子供の前では厳禁。
- ・声を発しないこと（関係者との連絡等のため、やむを得ず声を出す必要がある場合には、関係者以外に聞こえないよう細心の注意を払うこと）。
- ・必ず介添人を付け、コバトンだけで単独行動しないこと。
- ・換気が十分ではないので、走らないこと。
- ・幼児がしっぽではじかれると転倒してしまう可能性があるため、急に体の向きを変えないこと。引っ張ったり体当たりしたりする子供もいるので、介添人は優しくたしなめるなど気を配ること。
- ・出演中は、羽の中のベルトをつかむと動きやすい。小さなモノを持つときなどは、穴から手（手袋装着）を出すことも可能。
- ・長時間のイベント等では、30分程度で交代すること。ただし、炎天下の中、屋外で活動する等、厳しい環境での使用の際はこまめに交代をすること。
- ・夏場に使用の際は、水分補給をして熱中症への対策を十分にとった上で使用すること。気温によっては、使用の中止も検討すること。

3 使用後の注意

- ・使用後は、頭部、胴体、足（靴）の内面をよく乾かすとともに、きつく絞ったタオルで汗、汚れ等をよく水拭きすること。
- ・手袋、ズボンは洗濯ネットに入れて洗濯し、アイロンをかけた上で返却すること。

コバトン着ぐるみ タスキ装着要領

☆コバトンには**必ずタスキを着用**してください。装着方法は以下のとおりです。

① 右肩にタスキの頂点を合わせる（ずれるようであれば、安全ピンで留める）。

② タスキをコバトンの胴体の下に通す。



③ タスキがたるまないよう、コバトンの胴体にぴったり沿わせて整える。

☆装着イメージ図

《正しい例》

- ・タスキがピンと張っている
- ・右肩にタスキの頂点が合っている



《誤った例》

- ・タスキがたるんでいる
- ・右肩にタスキの頂点が合っていない

